



# Gameovers

-Filell + Filez.o-

CERO  
**Z**  
18歳未満禁止

Eroquis®





◀◀GO TO NEXT PAGE

# FILE.1



カメラ  
チェック

よし  
問題無いな

それじゃ  
カメラ回します  
あまり意識せず  
お話をお聞かせ  
下さい



八代目領主

ラモン・サラザール 20

ヨーロッパの辺境に  
あるこの地で以前から活動  
していたロスワイルミナドス教

サラザール家  
貴方の一族は  
このカルト・失礼

この教団から領民を  
護るために日々弾圧を  
続けてきたと聞きます

何故今になって  
受け入れたの  
ですか？



ただ気づいた  
だけですよ

この村にも…  
そしてこの私にも  
新しい風は必要だと

我々一族は  
兼ねてから  
孤独でした

そんな私へ  
かの教主サドラー様が  
救いの手を差し伸べて  
下さったのです



合衆国大統領の令嬢  
アッシュリー・グラハム

彼女が誘拐されたと  
いう噂を知ったのは  
数日前の事だ

情報が規制された状況の  
中で、私が行動に移した  
切っ掛けとなったのは

この周辺で勤務している  
地元の警察官が手に入れた  
ひとつの記録映像だった



記録によると

兼ねてから怪しい動きがあると  
地元住民からの通報を受け  
村の巡察に赴いたらしい



数人で向かった  
彼らの消息は  
途切れたが！

その二人の個人クラウド  
を送られた映像記録が  
一時的に回収されたのだ



そこに映っていたのは  
大統領の娘と思われる  
少女が男達に凌辱される  
凄惨な映像だった

あまり鮮明な映像  
では無かった為！  
本人である確証は  
取れなかったが



私の伝手から手に  
入れたその映像は  
行動に移すには  
充分だった





新興宗教の取材と称して  
接触を図った私は意外にも  
すんなりと迎え入れられた

取材の過程で隙を見て  
活動記録を発見した  
私はスクープとなる  
映像を探し始めた

こ…こんな事して  
何のつもり!?

私のパパが  
黙っては  
いないわよ!!

あんな事があった  
というのに威勢が  
良い事だ

これからお前は  
我々の為に  
役立って貰う

既にお前の体内  
にはプラーガを  
寄生させている

お前の為に教主が  
調整した特別製だ

そろそろお前の  
身体を造り替えた  
頃だろう

モッ

モッ

後は…

そこには私が確証として  
欲しかった「彼女の  
姿が映っていた





孵化すれば宿主の  
身体・精神を支配  
する生物兵器



!!!



寄生体  
「ブライガ」

この教団が信仰  
する寄生生物



ヒヒッ...

宿主に植え付けた卵に  
成体の精液を注ぎ込み  
成長を促進させる

彼らの種でお前の  
中のブライガを  
活性化させる

領主は代々一族が  
所有し使役して  
きた物だと自慢げ  
に話していた



るん  
!!!







アッアッアッ

アッアッアッ

アッアッアッ

アッアッアッ

アッアッアッ

私は想像を超えた  
映像に息をのむ

アッアッアッ

アッアッアッ

あの合衆国大統領の令嬢が  
形容し難い化物に凌辱され  
蹂躪されていたのだ

アッアッアッ

アッアッアッ







数時間後

一匹目の寄生体が  
孵ったのか彼女の  
身体に変化が生じ  
始める

「これで彼女は教団の  
家畜となった。」

いつの間にか私の後ろに  
立っていた領主は  
嬉しそうに説明した

この映像は  
本物か？

ジャーナリストとしての  
本能は疑念を払拭する  
為の証拠を欲した

そんな私に  
領主は映像記録の  
続きを促した



次の映像記録

彼女のプラーガの  
成長を促す為  
村人達はひたすら  
彼女を犯し続けた

抵抗激しかった彼女も  
流石に気が失せたようで  
時折快感とも取れる声を  
漏らす

胎内のプラーガの成長  
を促進させるにはより  
多くの精液が必要となる

彼らの精液を糧とし自ら  
の身体が変わって行くの  
を感じているだろう

寄生者特有の洗脳  
状態も見え始め  
ているようだ

おはようおはよう





だめッ…もう  
身体が…おかしく  
なって…

こんなの…  
もう許して…

家に帰して…



うッ…  
うッ…

あ…赤ちゃん  
出来ちゃうよオ…

一度は彼女を救い出した  
その合衆国エージェントも  
今では村に積み上げられた  
死体の一つだった

少女の悲痛な叫びは  
撮影者が彼女を助けに  
来たエージェント下へか…



ん



やっ…!!  
え…ッ!?  
まさか…そんな  
太いに入るワケ…

プラーガは宿主の肉体を  
活性化し密度に見合わぬ  
耐久力と再生力をもたらず

活性種を含む雄汁が  
破壊された組織を再生させ  
プラーガの胚を育てる  
極上の肉壺となるという

彼女の腕よりも太い肉茎が  
未成熟な肛門と腸壁を  
無理矢理に穿り殺していく





それから映像記録は  
様々な村人達と交配  
させられる彼女の  
姿を捉え続けた









いやッ...  
来ないで!!

支配種ブラーガを持つ  
ビトレス・メンデス村長も  
例外ではなく

異形の肉体へと変貌させた  
生殖器で彼女の身体を  
容赦なく貫いた





村長の異形の半身の生殖器が  
彼女の肛門を容赦なく穿<sup>し</sup>り犯すと  
悲鳴と嬌声が混じった濁声が響き渡る

それはもう彼女が  
後戻りできない領域に  
達している事を示していた

ハハハハハ

ハハハ

ハハハハハ

ハハハハハ

ハハハハハ

ハハハハハ

ハハハハハ

ハハハハハ

ハハハハハ

ハハハハハ

ハハハハハ

ハハハハハ

ハハハハハ

ハハハハハ

ハハハハハ





その後も私は彼女が  
犯され続ける記録を  
滾る好奇心に従い  
映像を追い続け：



拡張され完全な性器と  
して育った彼女の腸内へ  
注がれた精液は：

胃袋を超え食道から  
逆流してもなお残り  
その腹部を妊婦の様に  
膨らませた



彼女を造り替えて  
いく映像記録が  
底を着いた頃――

領主は私を  
晩餐会に招待  
してくれた

そこにはすっかり  
教団の軍門へと下った  
アシユリー・グラハム  
本人の姿があった

はじめまして…  
合衆国大統領令嬢  
アシユリー・グラハム  
です♡

飲ませ  
てね♡

♡♡♡

今日は新しい家族  
を迎えるからお腹  
空かせてきたの…♡

はーッ

♡♡♡

♡♡♡





うッ…ああ  
何だコレ…  
味わった事  
無い……

目の前で…私のすぐ下で  
あのアンリッーグラムが  
私のペニスを吸い上げている

プラグに内部から造り  
替えられ…彼女は「蟲」を  
増やす為に精を吸る  
家畜と成ったのだ

ズルズル…



アンリッーグラム  
現実の彼女を見て  
私はようやく事の重大さを  
自覚した

ぬん…





「...」

「...」



私はきつと  
あの警察官と同じ道を  
辿っていたのだからっ

私は私の中に  
抗えない別の意思が  
存在し始めているのを  
感じたー

「...」

「...」

「...」

「...」











私は「声」に従い  
新たに記録した映像を  
自身のクラウドへと  
アップロードした

いずれ私の送った記録を  
誰かが見つけ出し……  
この村へ足を踏み入れる  
者が出てくるだろう

我が教団の祝福を受け  
ロス・イルミナドス教は  
さらに発展していくのだ





フフフフ…  
あんなに射精され  
て気持ち良さそう

エイダさんも極上  
のプラーガを繁殖  
出来ますね…♡

フフフフ

フフフフ

フフフフ

フフフフ

フフフフ

フフフフ

フフフフ

フフフフ







さあ...

あッ♡

すっごいお腹に溜まってる♡

あッ♡  
ホラッ♡

出てきたあ♡

アッ  
アッ  
アッ

アッ  
アッ

んッ♡

あッ♡

アッ  
アッ  
アッ

アッ  
アッ

アッ  
アッ  
アッ

アッ  
アッ  
アッ

今日は大統領にビデオメールを送るから

私がたつくさん産むトコばっちり撮ってね♡





■合衆国大統領令嬢 アシユリー・グラハム声明全文■

世界の皆さんこんにちは♡ 合衆国大統領の娘、アシユリー・グラハムです。  
誘拐のニュースで心配させた方、本当にゴメンナサイ。  
あれから無事、教祖様の計らいで、ロス・イルミナドス教の  
神聖なるプラーガを繁殖させるという名誉あるお役目を頂きました。

村の人もとても優しく、私の事を本当に気持ち良くしてくれます。  
身代金の事は安心して。パパ♪  
さつき私が産んだようなプラーガの胚が、既に各地へと出荷され  
買い手が引く手あまたのようなので、そちらで賄ってます。  
私も、サドラー様の為にもっともっとプラーガを産んじやうから！  
パパやホワイトハウスの皆様には色々迷惑をかけちゃってごめんね。  
私は今、とっても幸せだよ♡

その後

本格的に流出した  
記録映像は政治的にも  
利用され大統領は失脚

勢力を拡大し続ける  
ロス・イルミナドスの中心には  
アシユリー・グラハムの姿が  
今も確認されている





FILE 2.0



ヨーロッパの辺境に  
位置する村――

八代当主サラザール卿が  
大きな城を構えるこの村は

教主サドラー率いる  
ロス・イルミナドス教団の  
本拠地として活動していた

私は新興宗教の  
取材と称し  
この教団へ接触

それは  
とある「記録」を  
求めての思惑だった

この教団に誘拐された  
合衆国大統領令嬢

アシリー・グラムを  
捉えた「記録」だ

合衆国元大統領令嬢  
アシリー・グラム

そしてそこで私は  
教主サドラー様のもと  
ブラーガという寄生体に  
支配された村人達と

ブラーガ  
寄生体の繁殖器  
となった彼女の  
記録を発見した

彼女が  
ロス・イルミナドス教の  
軍門に下ってから  
数週間が過ぎた





プラーガ

寄生した宿主を  
支配種が意のままに  
操れるという寄生生物

彼女へプラーガを植え付け  
合衆国へ戻し、寄生体による  
混乱と支配を目論んでいたが

繁殖の器となった彼女が  
新種のプラーガを産んだ  
事により状況は一変した



本来のプラーガは  
種を植え付けてから成体へ  
成長するのに時間や栄養が  
必要だったのに対し

彼女によって  
生み出された新種は  
口腔などから体内に  
入れると瞬時に孵化し  
宿主を操るまでに至った

これにより  
アンリィ・グラスムは  
教団に取って非常に  
貴重な存在となったのだ





彼女のメッセージと共に  
ロズウィルミナドスは  
表舞台に名を上げ！

彼女の父である  
大統領は失脚した



受精卵の器となった肉壺へ  
プラーガの種を植え付け  
寄生された牡の精液を注ぎ  
彼女の中で繁殖させる

産み落とした  
新種のプラーガは  
闇市場を通じて教団の  
収入源となり

世界はサドラー様の  
目論み通り  
疑心に溢れた世界に  
なり果てた



今では救いを求め  
我が教団に自ら  
入信してくる者も  
居るほどだ

教団を追うつたに  
後戻りが出来なく  
なった私は

サラザール様より  
アシリークラムの  
世話係を任命された

どうやら私の身体は  
プラーガに対して適合  
する体質だったらしく  
繁殖と記録を管理する  
為の支配種プラーガを  
寄生させられた







ガナードは人間の頃の生活を  
模すが繁殖による快楽を  
知ったこの牝は常に強い  
生殖欲求に駆られていた



ガナード  
家畜となった  
アシリー・グラムは  
非常に貪欲だった

私の役目は  
彼女の肉体を清く保つ事  
彼女の繁殖の管理と記録

そして餌係



精液が枯渇すると  
雄の身体を壊すまで  
交尾を繰り返す

プラーガの力で肉体は  
再生するといえ彼女は  
繁殖の為の大切な器

私はその歯止め役  
という訳だ



新種プラーガによる  
市場も安定した頃

教主様はプラーガの  
生産数を増やす為  
もう一匹の繁殖器を  
増員する事を  
お決めになられた





家畜用プラグも  
機能している様だな

それでは  
繁殖の儀式を  
始める



エイダ・ウォン

第三の組織から  
送り込まれた  
女スパイ

教団員だったルイス・セラを  
手引きし寄生体のサンプルを  
奪おうと試みた様だが

アンソニーを救出に来た  
エリザベトの最期を  
伝えた隙を突き捕縛に成功

この女を雇っていた  
組織も早々に彼女を  
手放した









ようやく支配種の  
貴方に近づく  
チャンスが  
巡って来たわね

貴様…ッ  
確かにプラーガを  
寄生させた筈じゃ…

ルイス・セラから  
貰った孵化抑制の薬を  
飲んでおいたの

支配種の貴方を  
始末すれば…  
今私を操る術は  
無くなるわ

この女…  
私が近づくのを  
待っていたのか…

この女の戦闘能力…  
ここに居るガードだけ  
では太刀打ちできない…

…ッ  
とは言っても  
もう時間はあまり  
無いようね…

悪いけど貴方を  
殺してお暇させて  
貰うわ

くそッ…





な...?

三日月





アム...

アムジュリー...  
...グラーハム...?

アム...

アム...





エイダさん…  
ですよね？

レオンから  
聞いてましたよ

ダメじゃな  
いですか…

これから  
大切な儀式を  
行うのに…

幸運にも  
繁殖の儀式に使う為  
に同席したアシリーが  
私の弱地を救ってくれた

ふふ…♥  
コレですぐに  
楽にしてあげる

孵化がまだなら  
新種のプラークを  
アシリーから直接  
寄生させれば良い

しかしエイダウオンの  
精神力にも驚いた

孵化を抑制してた  
とは言え…寄生の  
影響に耐えていたとは

この失態を挽回すべく  
この雌はしっかりと  
造り替え完璧な繁殖器  
にせねばなるまい









私がエイダさんの濁った内臓をキレイにしてあげる♡

フフ♡  
レオンより上手でしょ？

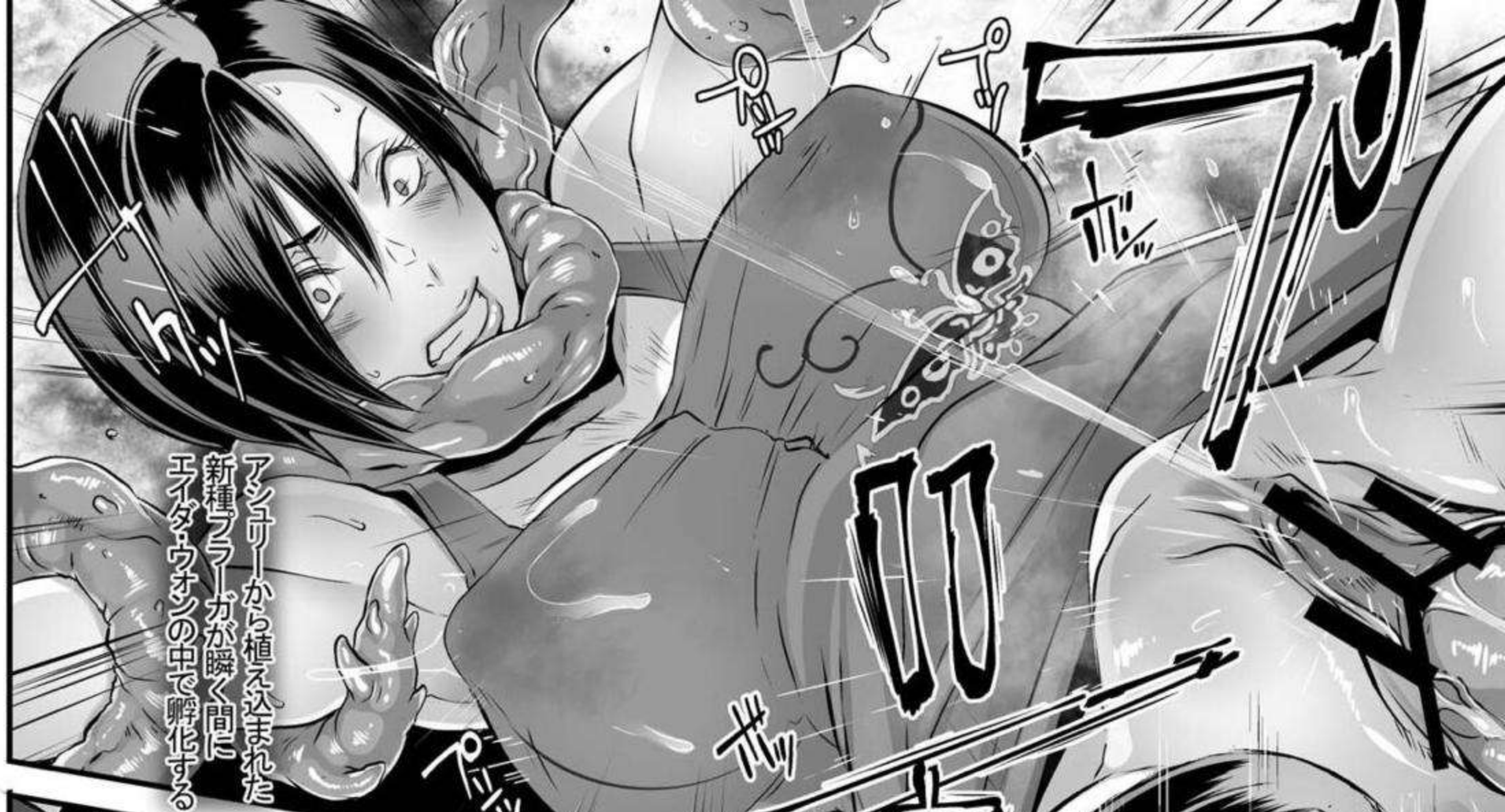
ガッ  
ズッ

ズッ

ガッ

ガッ





アンジーから植え込まれた  
新種「ブラーガ」が瞬間に  
エイダワオンの中で孵化する



フフ：エイダさんの  
おっぱいから母乳が  
こんなになに：♡



んふッ♡  
んッ...んっ♡

アンジー





はあッ…  
はあッ…  
はあッ♥  
れッ…レオンより  
先に貫っちゃった…♥

支配種でもある  
アンダーのブラーガは  
支配下に降したエイダウオンを  
いつも簡単に屈服させた

エイダさんの穴…  
キモチ良すぎて  
抜けちゃった♥

ちやんと胎内なかに  
産み付けなきゃ♥









胃に腸に子宮に…  
体内に行き渡り孵化する  
プラグ

繁殖用プラグも  
同時に活性化し  
エイダウオンの中の  
最後の砦が崩れた

オオオオオ



後はプラグが増える様  
社共の精液をひたすらに  
注ぎ込むだけだ



エイダさん



ようこそ  
ロス・イルミ  
ナドスへ





食事の時間だぞ



ああん♡  
ようやく  
きたあ♡

早く♡  
早く♡  
早く精液  
頂戴♡

早く♡

早く♡

早く♡

待てないよあ♡

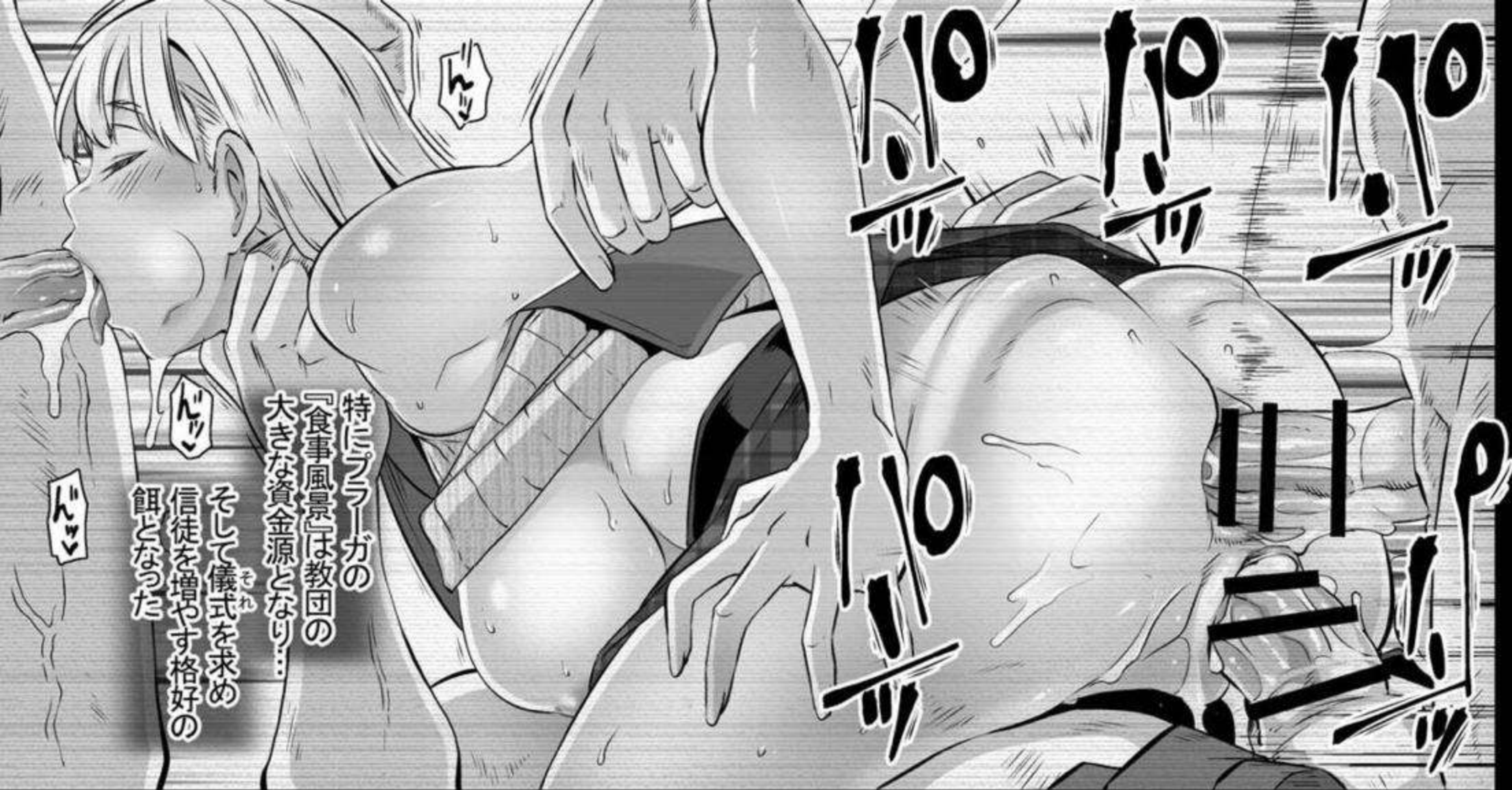


私は兼ねてから注目していた  
ライブ動画を利用した  
教団の広報にも乗り出していた

教団が世間に認知され  
活動の記録動画や  
リアルタイムで行われる  
儀式の中継は闇市場を  
中心に大きな注目を集めた







特にブラーガの  
「食事風景」は教団の  
大きな資金源となり…  
そして儀式を求め  
信徒を増やす格好の  
餌となった



失脚したとはいえ  
元大統領の令嬢が  
教団に堕ちた姿は  
人々の関心を引く



それは洗脳下に置かれた  
アソビには無い  
彼女の体質にあった

それに加え  
エイタ・ウオンの  
参入は教団の  
資金調達に大いに  
貢献した





新種のプラグで  
この女の身体は  
完全に支配下となった

だが脳への抵抗力が  
高いのか僅かに理性  
が残ったままだ

全く驚く結果だ

ズン

ズン



だがそれは逆に  
不運な事だ

彼女は自らの身体が  
支配され操られ、  
別のモノへ変化する  
のを感じていく

自身が繁殖器に変異  
させられるのを自覚  
する姿はさぞかし  
見ものだろう

ズン

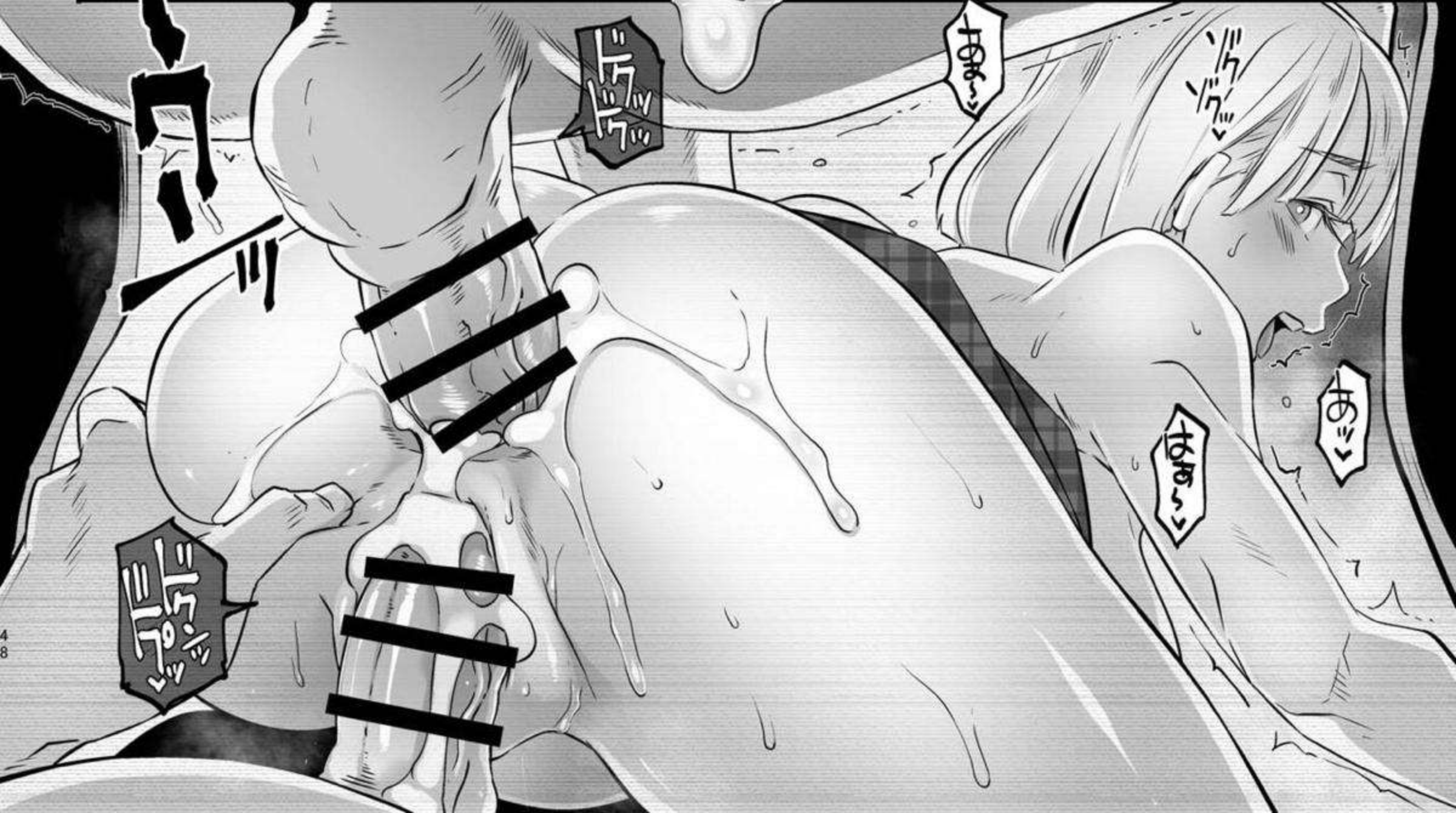
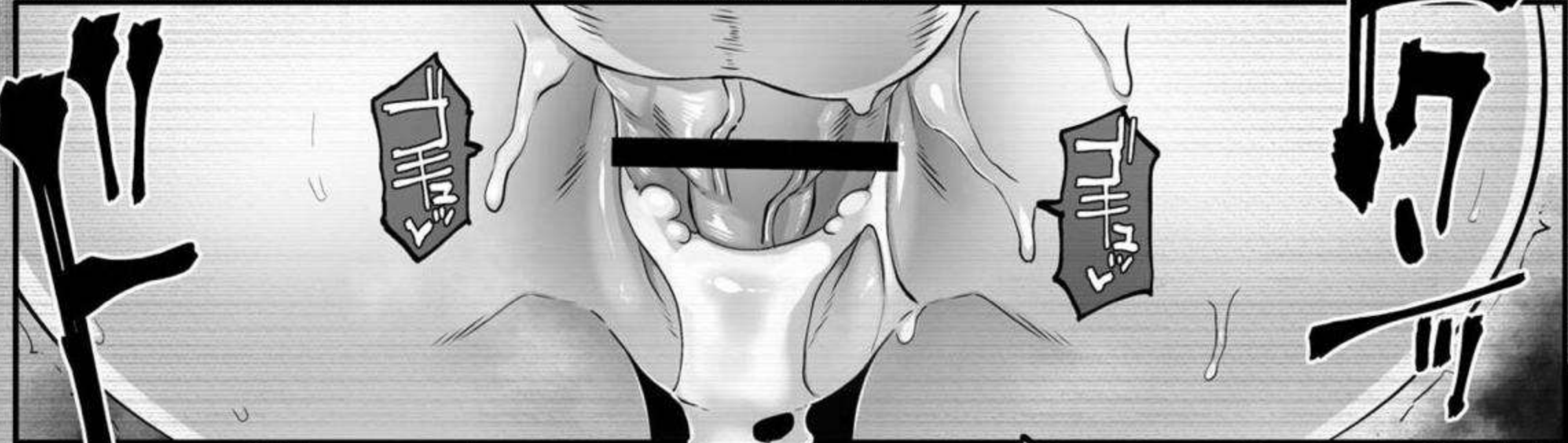
ズン















でもまだエイダさんは  
しっかりプラーガが  
定着してないみたいで...



今日も新入りさんと  
食事風景を  
お送りします♥  
**エイダ・ウォン**  
さんです♥



これからガッツリ  
種付けして貰って  
私達の仲間にして上げ  
ようと思ひます♥





理性が残っている  
事を存分に悔やむがいい



あッ…あら…  
あなたに…イッ  
言われたくないわ…  
クラウザー…

無様な姿だな  
エイダ・ウオン

減らず口は  
相変わらずか  
だが身体は  
俺の種を欲しがって  
いるようだぞ



生意気な雌は  
クソ穴で充分だ

プラーガで  
肥大した  
俺のモノは  
効くだろう？



まあそのクソ穴も  
最早プラーガを  
育てる繁殖穴

あの娘と  
同じくな

レオンの代わりに  
しつかり俺の種を  
植え付けてやる

おなか  
膣内の蟲さんが  
押し出され  
ちやう♡♡

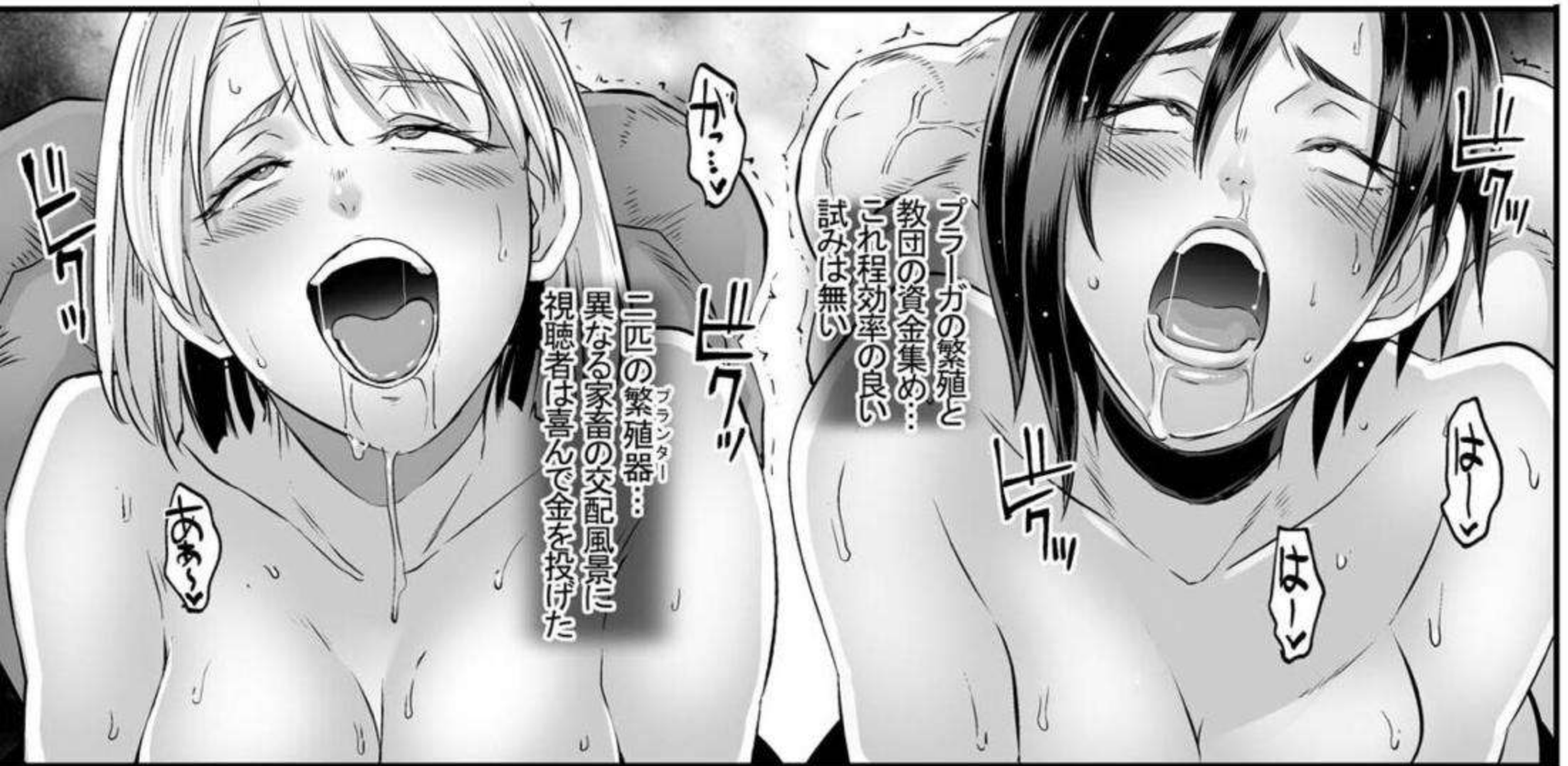
ああん♡





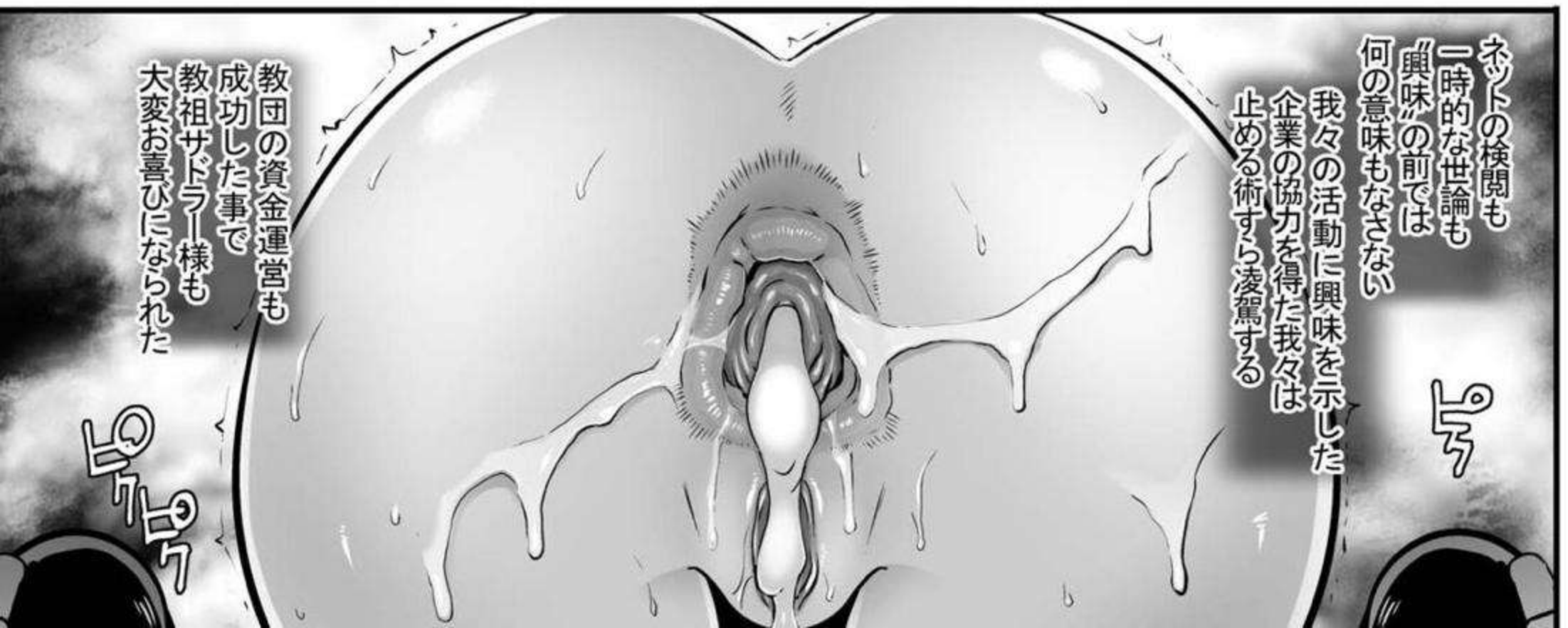






二匹の繁殖器...  
異なる家畜の交配風景に  
視聴者は喜んで金を投げた

プラーガの繁殖と  
教団の資金集め...  
これ程効率の良い  
試みは無い



ネットの検閲も  
一時的な世論も  
興味の前では  
何の意味もなさない  
我々の活動に興味を示した  
企業の協力を得た我々は  
止める術すら凌駕する

教団の資金運営も  
成功した事で  
教祖サドラー様も  
大変お喜びになられた





プラーガの繁殖が  
進むと収獲へと  
移る

その役割を行っているのは  
教団の拠点としている  
サラザール城の主  
ラモン・サラザール卿だ



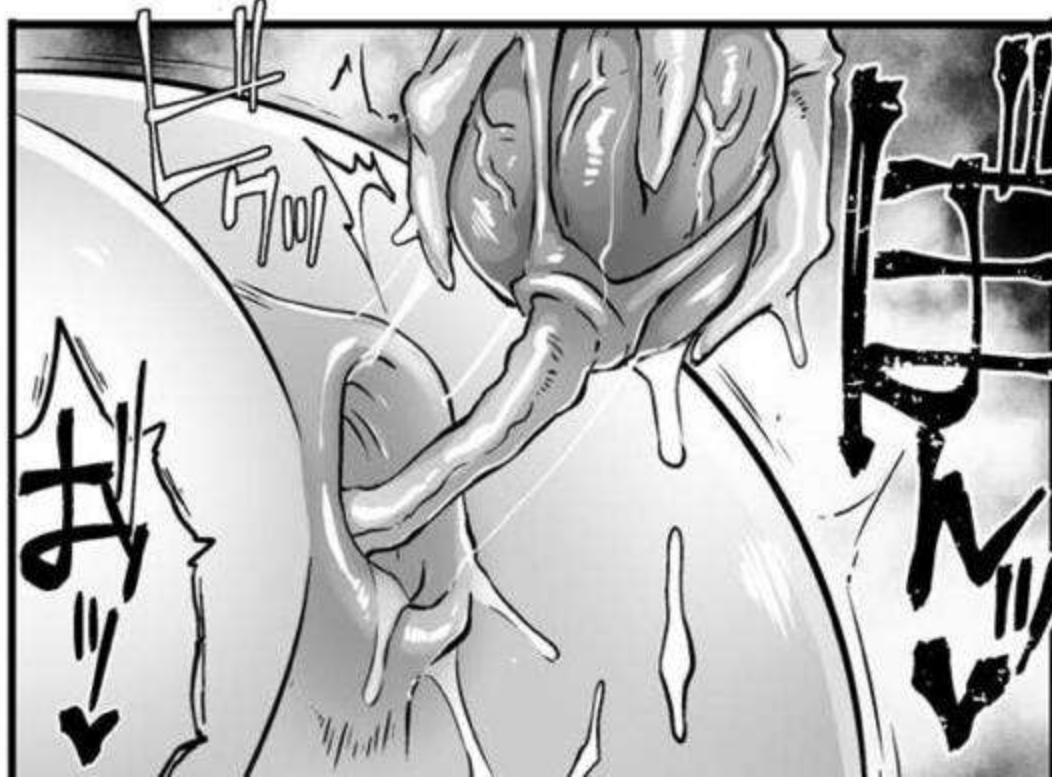
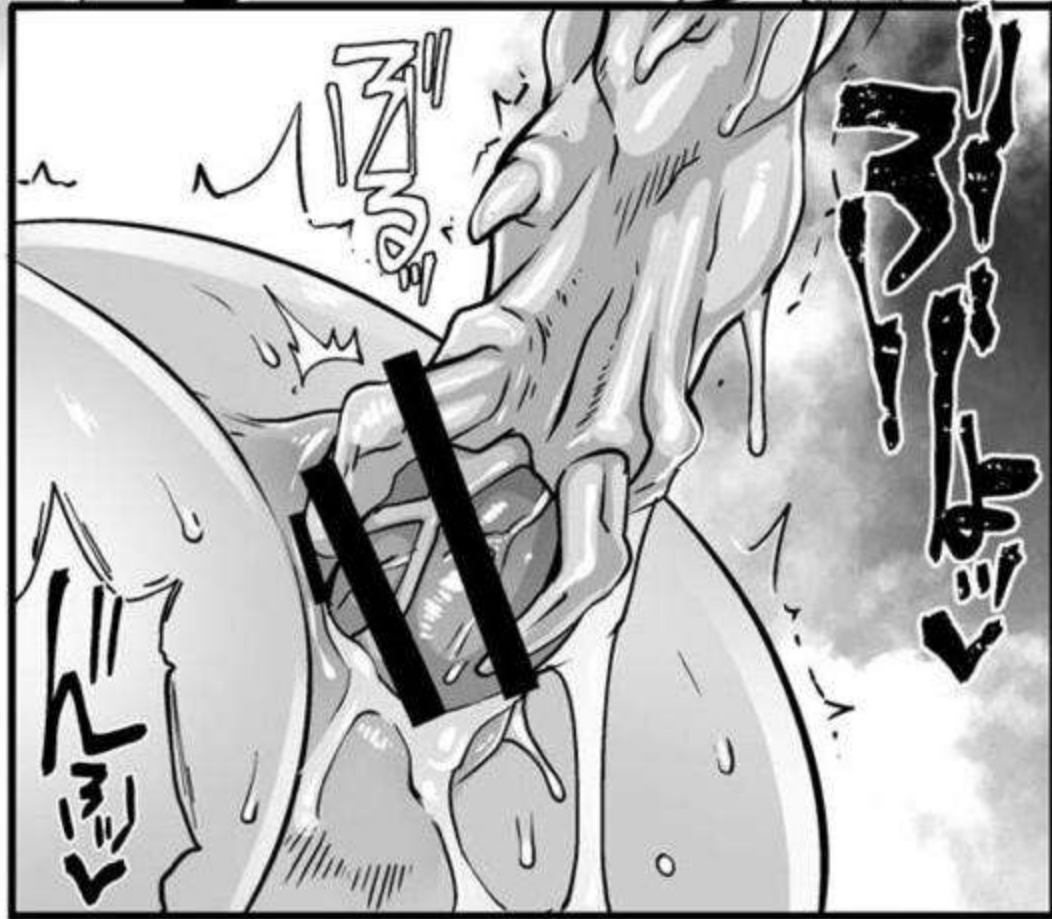
教団の存在が公になった今  
サラザール家の後ろ盾は  
さほど重要ではない

プラーガの力を解放し  
繁殖の為に収穫器と  
なって貰った

元の人間の姿には  
戻る事は出来ないが  
教団の繁栄の為に  
彼は喜んでその身を  
差し出した



他の生物を取り込む事で  
混合した精液を流し込み  
腹の中で繁殖した  
新種プラーガの卵を収穫する







エイトウオン  
アシナーグラム共  
新型ラーガは順調以上に  
繁殖効率を高め…

我が教団の資金源となる  
実験体の原料を大量に  
生産する事が出来た

エイトウオンの  
方は産卵して  
繁殖する

丁度良い  
量の材料を  
移行する

クワッ

クワッ

クワッ

クワッ

クワッ

クワッ

クワッ

クワッ

クワッ

クワッ

クワッ

クワッ

クワッ

クワッ

クワッ

クワッ









これは良質な  
幼体が造られたぞ









失礼致しました



繁殖用ブラーガに適応した二匹の雌個体の胎内に胚を植え込み雄たちの精液で繁殖・栽培させていく

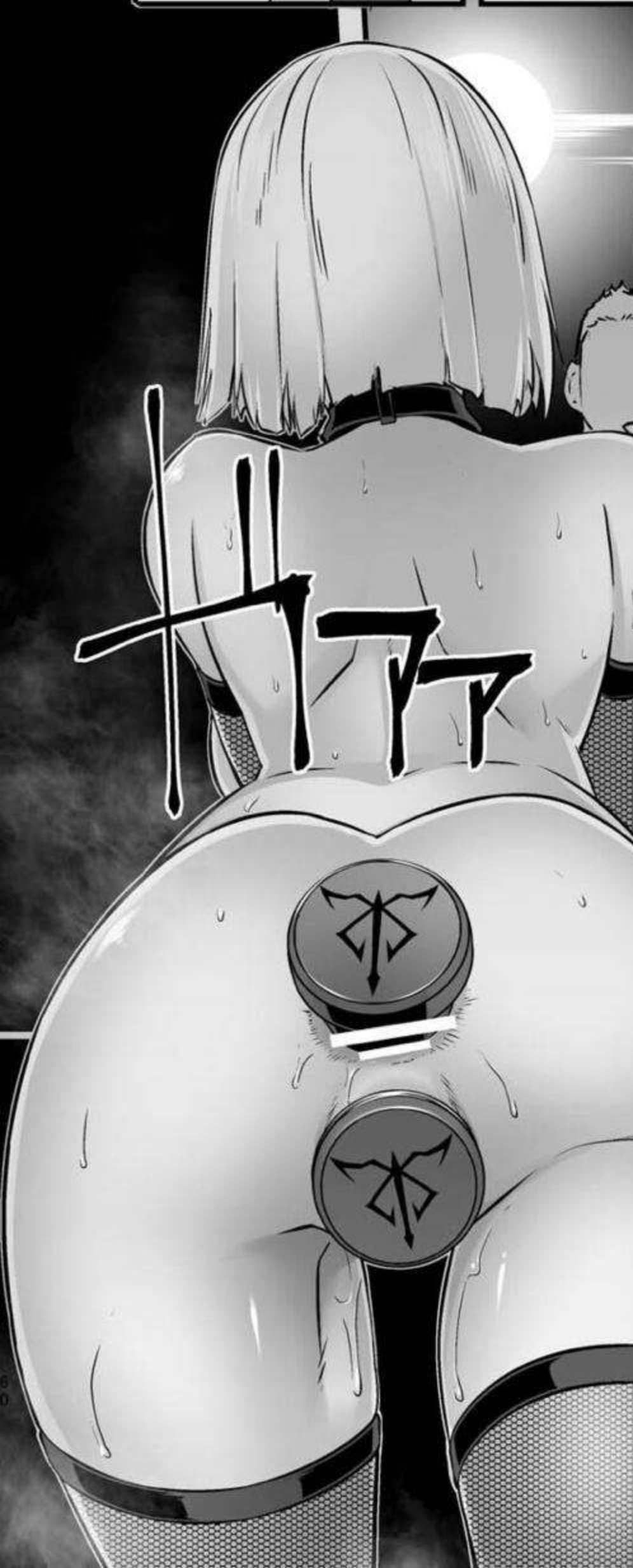
生殖穴を使った搾精は非常に効率と生産性の高い結果を生み出しています

またブラーガにより進化した生物との交配にも優れており…

おい君 御託は良いからこの後の接待とやらに移ってくれ



勿論：皆さま方が愉しめるよう準備しております



アア

アア

000







某国の要人が  
教団の視察に来た

最近では我が教団の  
利用を目論み  
接触を図る国も  
多くなったと聞く

そんな要人達へ  
交渉するのにも  
この二人は大いに  
役立った

視察後  
彼女らの身体を  
存分に味わった  
要人達の身体に  
種を植え付ける

我が教団の種を  
世界中へと運ぶのだ

















うッ…おちッ  
これは…

フフ…♡

なッ…中で  
回転して…  
吸われてるッ

まさか乳房まで  
兵器化とはッ!!

乳首まで  
性器に!?



あああッ!!  
出す・膈内なかに  
射精だすぞッ!!

しっかり子宮  
で飲み込め!!

優秀な遺伝子で  
プラーガを進化  
させるんだ!!



はあッ...  
はあッ...

たっぷり  
飲み込め...







オレ

ミス・ギオネ?

女性には少々  
刺激が強すぎ  
ましたかな?

大した事  
無いわ

我が社でも  
似た様な事を  
しているもの





あなた方から提供  
して頂いたプラークは  
実に面白い研究成果を  
上げているわ

トライセルも  
面白いモノに  
なっているわよ



それは  
楽しみです





ついにサドラー様が  
神と成られる日が訪れた



エイトウオウも  
すっかり教団の  
繁殖器へと落ち

自らその身を  
教祖サドラー様に  
捧げるに至った

















ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ごぼっ  
んぼっ...おっ  
ごぼおお

ゴッ  
グッ  
グッ

んあっ...がッ

サドラー様が...  
教祖様が注いって  
くるう

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

ゴッ  
グッ  
グッ

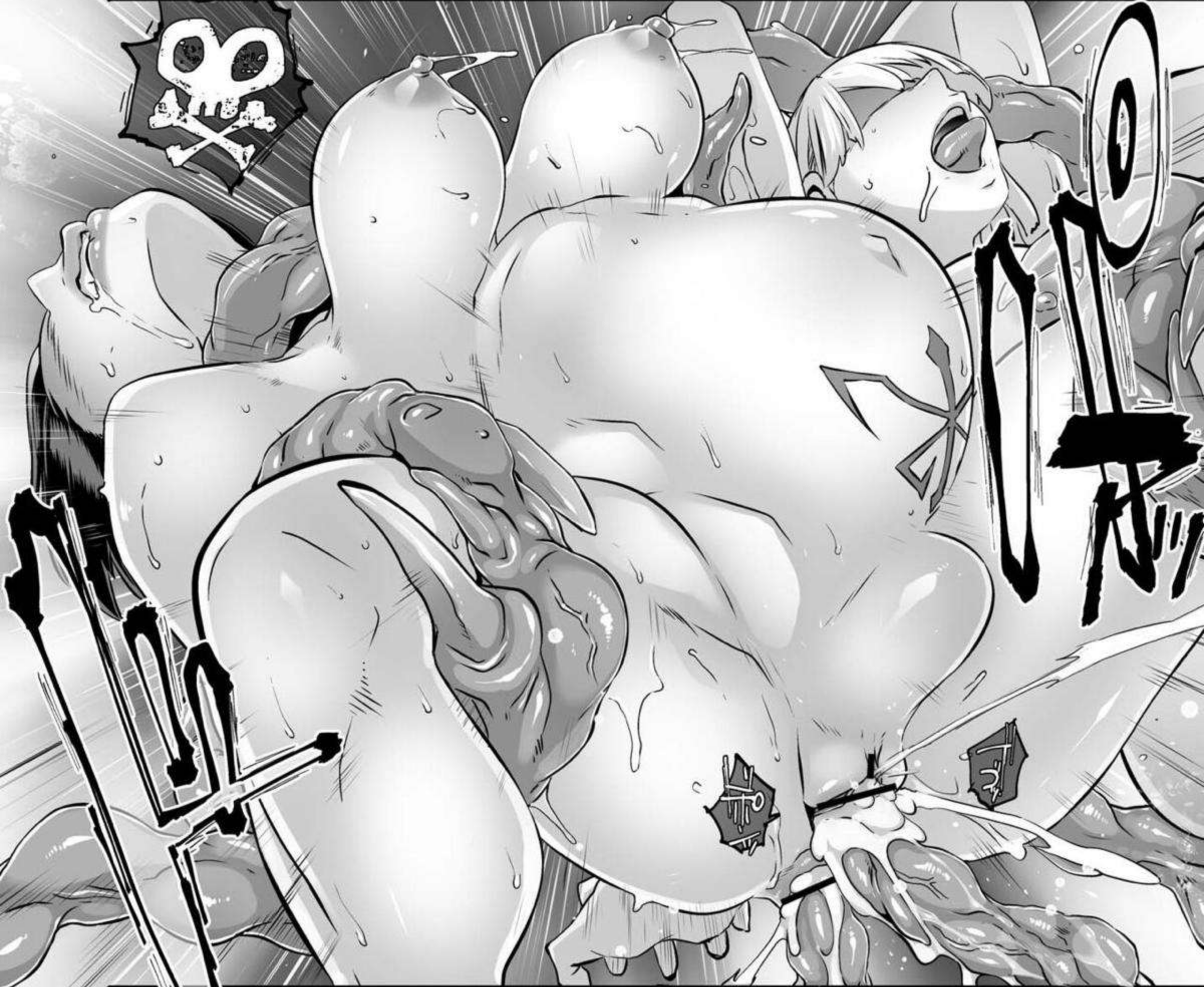




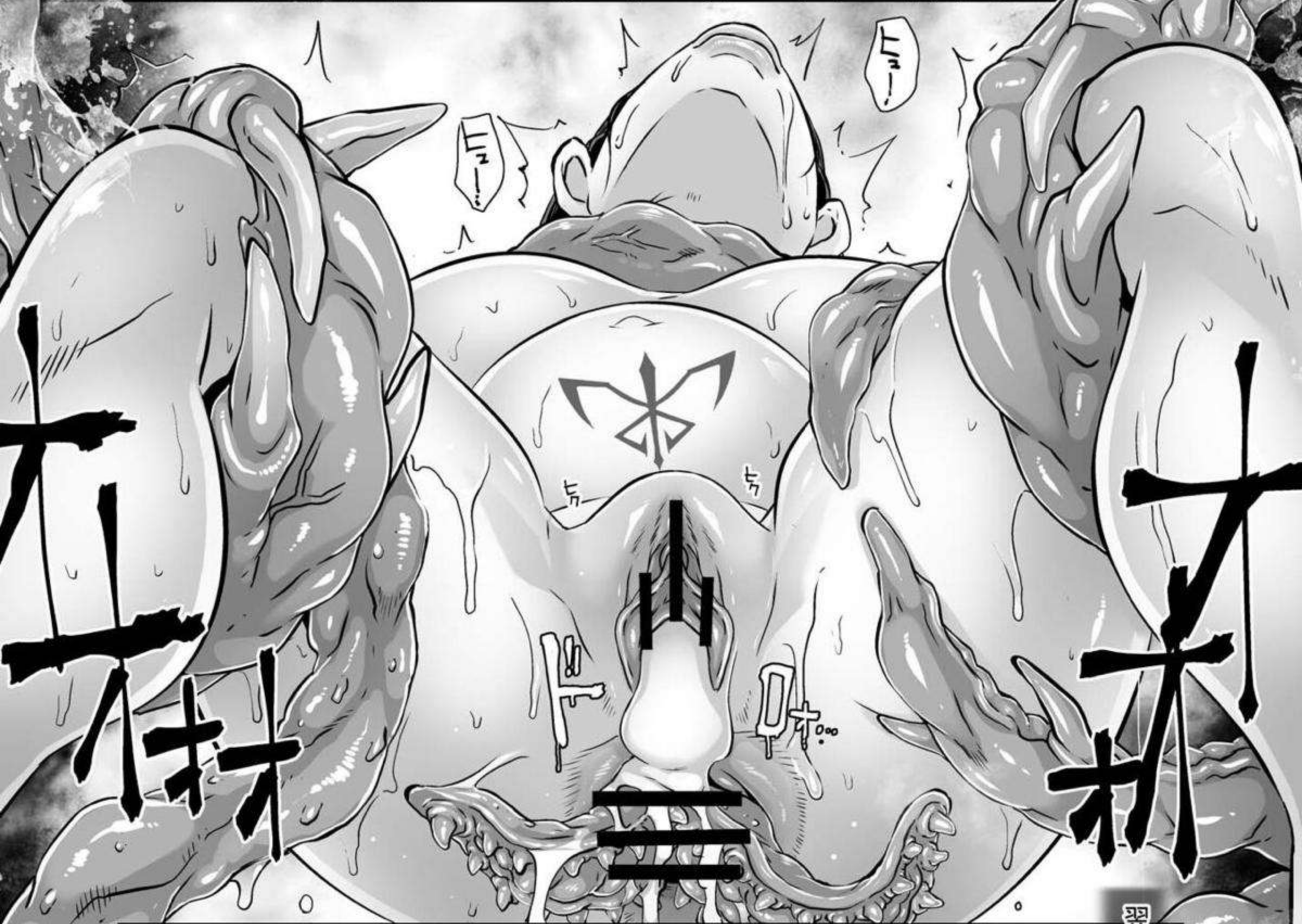
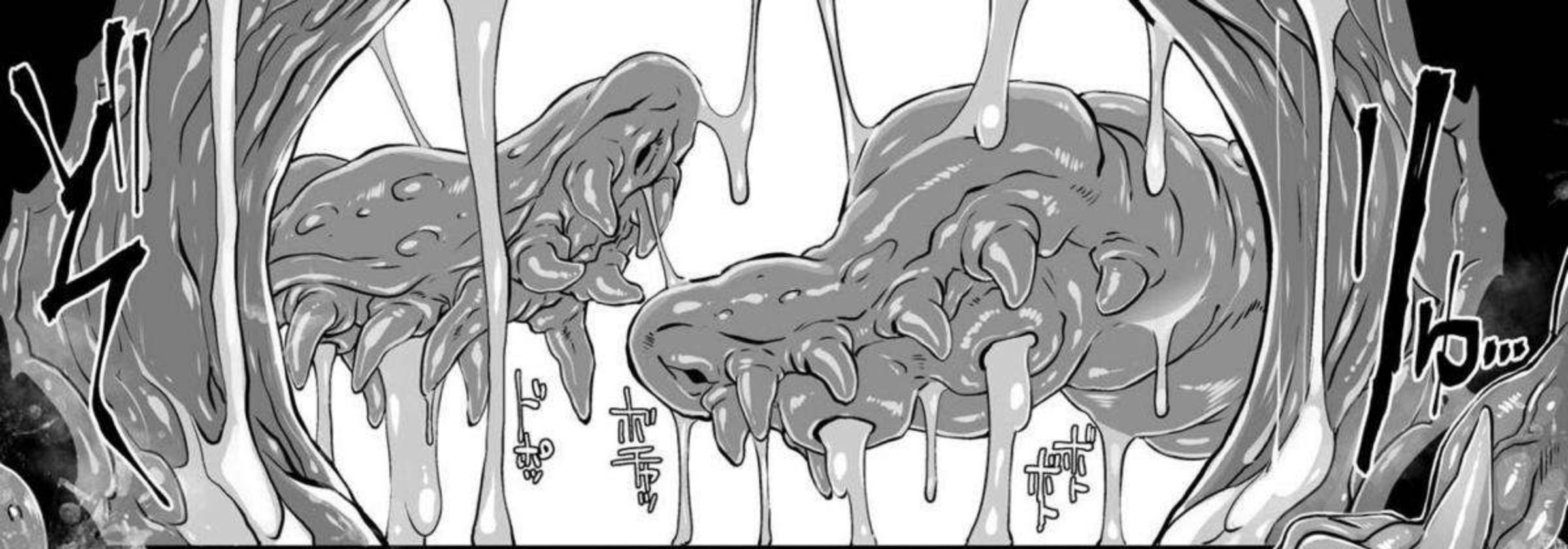
二匹の聖母の胎内で育つ  
強靱なブラーガへ核を映し  
古き身体を捨てた教祖様は  
再びこの地へ生み出される

新たに生まれ落ちた  
教祖様は我々を  
さらなる高みへと  
導いて下さるだろう









翌年

ロケットミサイルは  
ヨーロッパの他、米国まで  
その勢力を伸ばし

各地域で  
プラーカによる  
パンデミックが多発

一方でその  
事態を利用した  
軍事・製薬産業が  
大いに潤ったという





回をシルミナドスは  
各地に根付くよつた  
広まっていき

二人の教祖  
二匹の母と共に  
今もなお健在である

The end...







発行日 : 2022/08/14  
著者 : ブッチャーU  
発行 : ERO QUIS!  
HP : <http://eroquis.com/>

